



北海道大学

平成27年度

国土保全学総論

IGS 5510

特任教授 小山内 信智

国土保全学研究室

大学院農学研究院 連携研究部門 融合研究分野

我国の国土の成り立ちを踏まえ、国土保全と地域保全の重要性と必要性を学ぶ機会を提供する。

社会の最前線で活躍中の非常勤講師陣とともに、実際の事例を用いて課題から解決策を導く過程を通して実践能力のある人材の育成を図る。

日時	分野	タイトル	講師
4/15	国土保全学概論	国土保全学総論	小山内信智（特任教授）
4/22	国土保全と行政実務(1)	国土保全学総論	小山内信智（特任教授）
5/13	国土計画と国土保全政策 (1)(2)	第2次国土形成計画と人の繋がり	奥野信宏（中京大学理事・国土審議会長）
5/27	国土保全関係法令(2)	明治中期における国土保全法制の形成について	栗島明康（民間都市開発推進機構常務理事）
6/3	国土保全関係法令(1)	災害対策基本法等関係法令からみた国土保全	筒井智紀（国土交通省砂防管理室長）
6/10	国土保全と行政実務(3)	火山地帯の保全と利用	安養寺信夫 （一財 砂防・地すべり技術センター理事）
6/17	国土保全と行政実務(2)	北海道開発局の事業紹介（河川分野）	小山内信智（特任教授） 話題提供：井田泰蔵（北海道開発局河川企画官）
6/24	国土保全と行政実務(4)	地すべり地帯の保全と利用	綱木亮介 （一財 砂防・地すべり技術センター部長）
7/1	総合的な防災行政実務	大規模土砂災害と危機管理	南哲行（一社 全国治水砂防協会常務理事）
7/8	基礎自治体と国土保全	国土保全と自治体の役割 －活火山十勝岳と美瑛町のまちづくり－	浜田哲（美瑛町長）
7/15	国土保全と行政実務 (5)(6)	国土保全対策の事例（洪水、土砂災害）	（現地視察）
7/22	国土保全と防災教育	学校における防災教育の現状と課題	北俊夫（国土館大学教授）
7/29	国土保全学概論	全体の総括	小山内信智（特任教授）

敬称略



【講義の主なポイント】

講義の目的、概要
国土保全とは何か。その中で砂防の位置付けとは。



【講義の主なポイント】

想定外とは何か
可住地周辺の土砂災害、洪水リスク



【講義の主なポイント】

人の繋がりが支えるこれからの国土・地域政策、テーマは「対流」
「普通の人」が担う公共とは



【講義の主なポイント】

奈良時代に遡る、日本の山林荒廃の歴史
明治初期の「治水」と現代の「治水」の違い
「治水三法」という概念について



【講義の主なポイント】

防災・国土計画等からみた国土保全
これからの国土計画、国土強靱化

【講義の主なポイント】

火山活動から受ける恵みと災い
火山とつきあう知恵と努力（防災、減災）
火山に対する国土保全技術（効果と限界）



【講義の主なポイント】

6/10講義（安養寺理事）で出された質問に対する回答
北海道開発局が実施している国土保全対策事例（河川分野）



話題提供：井田泰蔵氏（北海道開発局 河川企画官）

【講義の主なポイント】

日本の国土と地すべり
国土の開発と地すべり対策
これからの国土保全と地すべり対策





【講義の主なポイント】

大規模土砂災害発生、その時考えたこと、得られた教訓について
災害発生に備えた全国の取り組み事例など

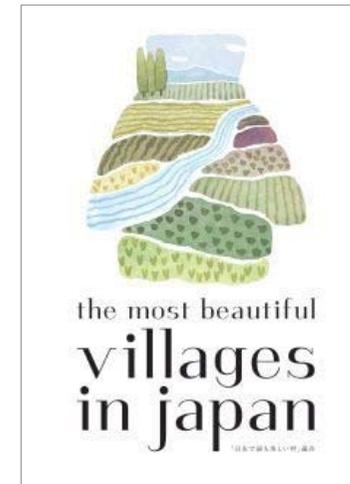
【講義の主なポイント】

美瑛町の概要、防災対策

自立と持続のまちづくり（地域固有の資源 等）

地域経営の目標（自立的決定権 等）

まちのブランド化、「日本で最も美しい村」連合



「日本で最も美しい村」連合



土づくり（農業の再生） 講義資料より

【千歳川の洪水対策 ①② (石狩川直轄河川改修事業)】
 【樽前山の土砂災害対策③④ (樽前山直轄火山砂防事業)】

平成27年度大学院共通授業 「国土保全学総論」



①北広島市千歳川河川防災ステーション
 (災害時の前線基地)

協力：

 国土交通省
 北海道開発局



②舞鶴遊水地 (洪水時の水位上昇抑制) の越流堤



おほっぶ
 ③覚生川1号砂防堰堤
 (火山泥流対策)



④地層観察
 (樽前山の噴火履歴)

【講義の主なポイント】

学校教育における防災教育、現状と課題
学習指導要領・解説、教科書にみる自然災害の記述（小学5年・社会科の例など）





【講義の主なポイント】

前回までの講義で寄せられた質問への回答、解説
公共調達に関する近年の一事例、誤解されがちな点について

非常勤講師の皆様をはじめ、関係機関など多くの方々のご協力をいただき半年間の講義を終えることができました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

国土保全学研究室 小山内